

特別号①

西野小だよ！



平成26年：特 別 号
京都市立西野小学校
校 長 伊 藤 茂
山科区西野櫃川町34
☎ 501-5700
Fax 501-5371

第1回『西野小学校評価アンケート』(保護者)

今年度も、第1回『西野小学校評価アンケート』(保護者)を実施したところ、のべ200名を超える保護者の方にご回答を頂きました。調査の内容や答え方で分かりづらいところもあったと思いますが、この調査の結果をもとにして、今後の指導に役立てていきたいと思っています。

ご協力、本当にありがとうございました。

●重要度(左側)・・・重要なこと、大切なことの度合い

●実現度(右側)・・・実際にあらわれること、あらわす度合い

重要度

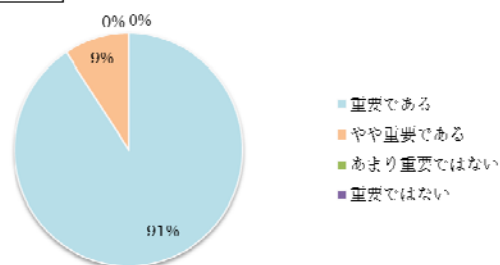
- 1・・・重要である
- 2・・・やや重要である
- 3・・・あまり重要ではない
- 4・・・重要ではない

実現度

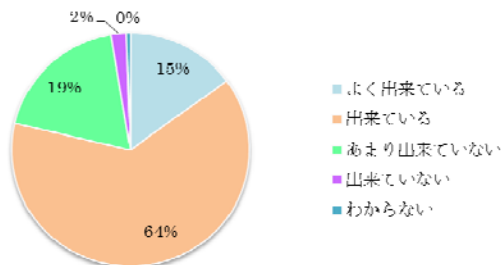
- 1・・・よく出来ている
- 2・・・出来ている
- 3・・・あまり出来ていない
- 4・・・出来ていない
- 5・・・わからない
- 6・・・無答

① 子どもは、音読・漢字・計算等の基礎的な学力を身につけている。

重要度

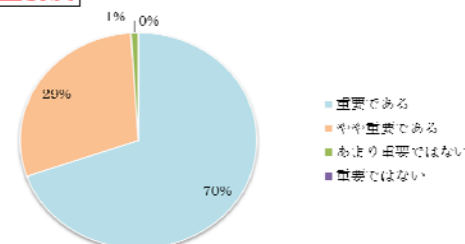


実現度

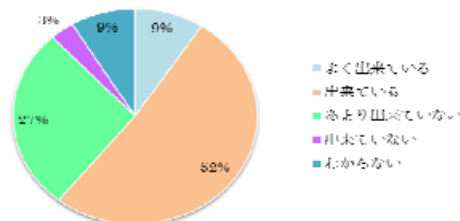


② 子どもは、授業の中で、進んで考えたり、発表したりしている。

重要度

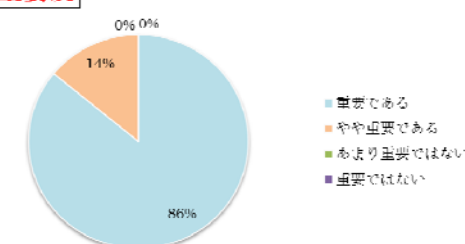


実現度

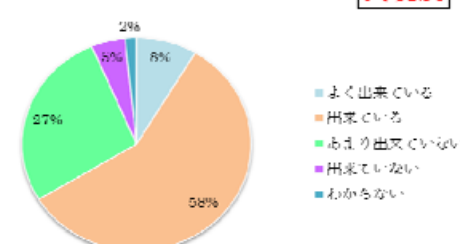


③ 子どもは、言語活動(読む・書く・話す活動)を通して、伝え合う力を身につけている。

重要度

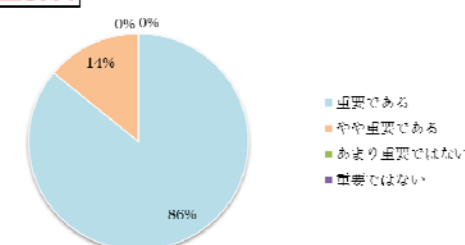


実現度

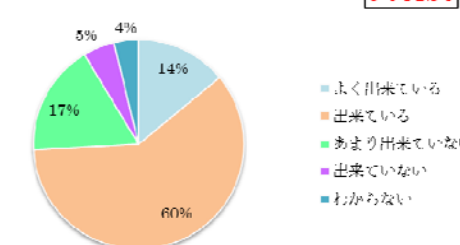


④ 子どもは、授業がわかり、満足感や達成感をもっている。

重要度

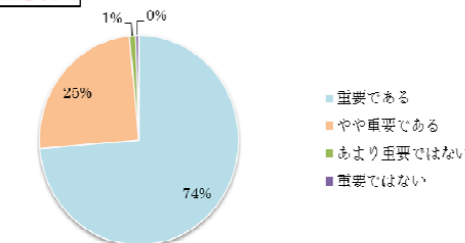


実現度

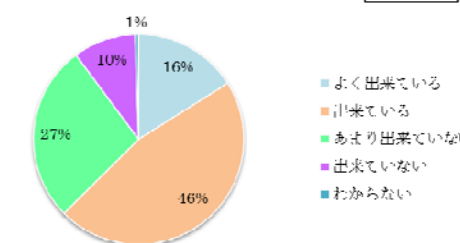


⑤ 子どもは、家庭学習の習慣を身につけている。

重要度

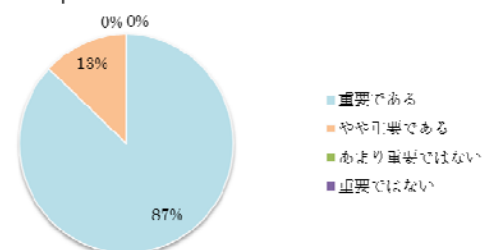


実現度

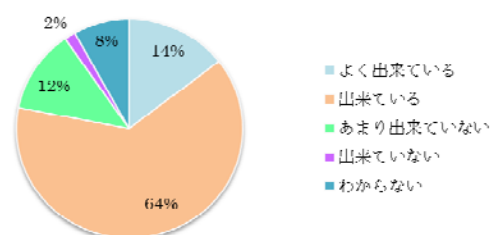


⑥ 学校は、人を思いやる心を育てるなど、人権を大切にした教育を進めている。

重要度

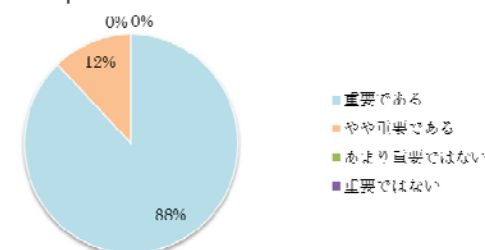


実現度

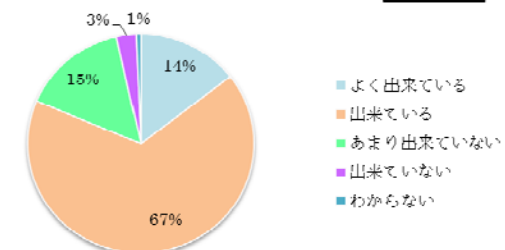


⑨ 子どもは、きまりや約束を守って生活している。

重要度

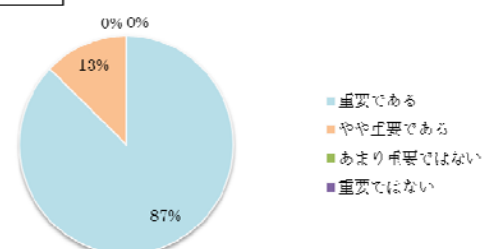


実現度

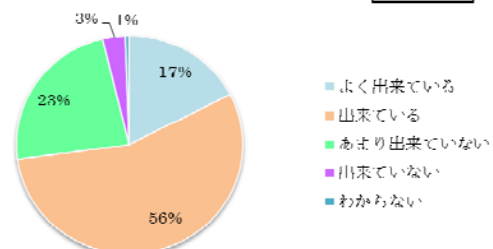


⑦ 子どもは、気持ちの良いあいさつをしている。

重要度

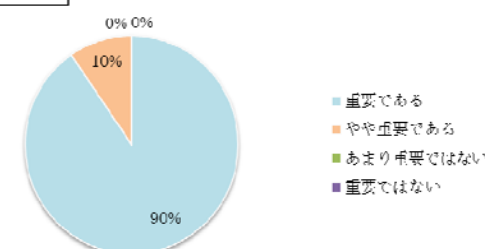


実現度

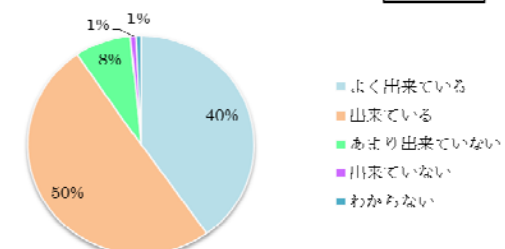


⑩ 子どもは、楽しく学校に通っている。

重要度

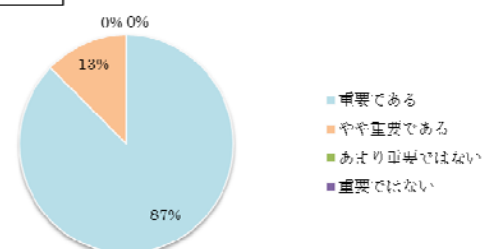


実現度

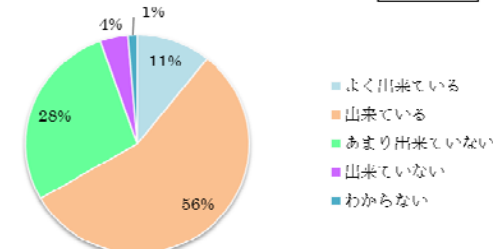


⑧ 子どもは、最後まで根気よくやりぬこうとしている。

重要度

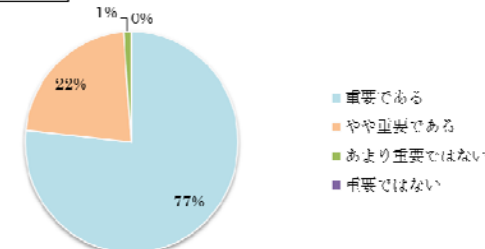


実現度

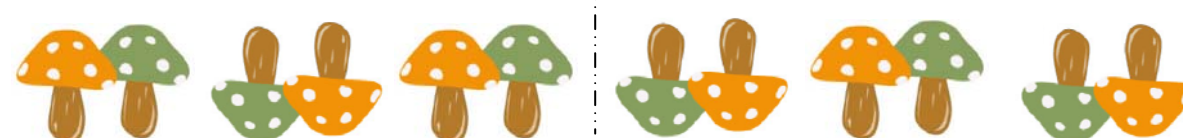
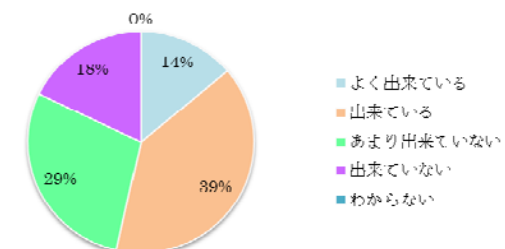


⑪ 子どもは、読書の習慣がついている。

重要度



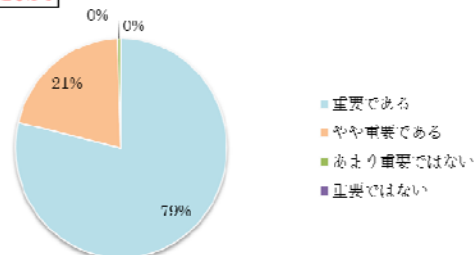
実現度



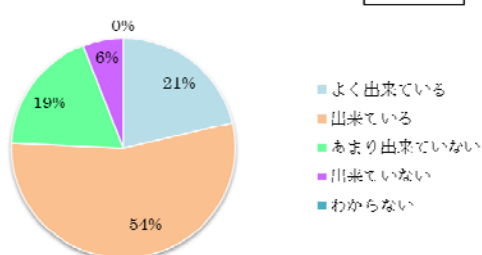
特別号②

⑫ 子どもは、健康で体力のある体をつくろうとしている。

重要度

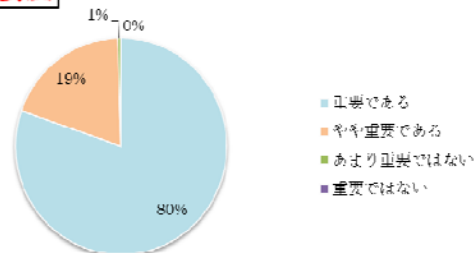


実現度

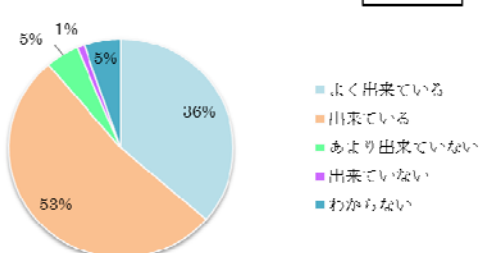


⑬ 子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。

重要度

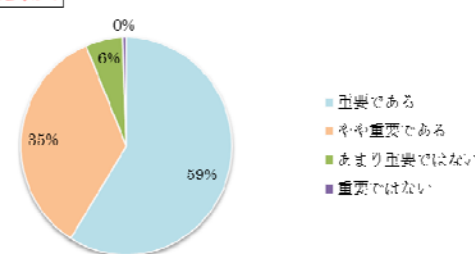


実現度

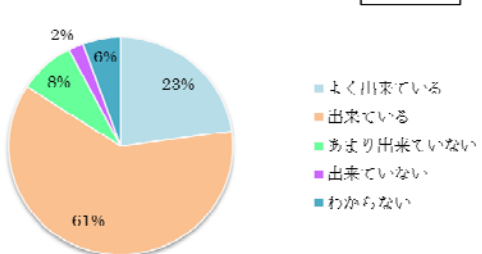


⑭ 学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。

重要度

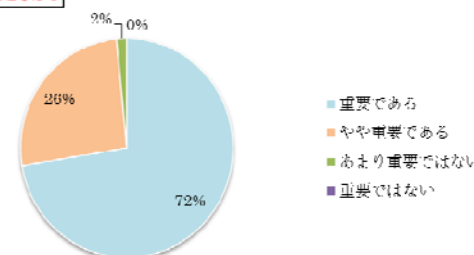


実現度

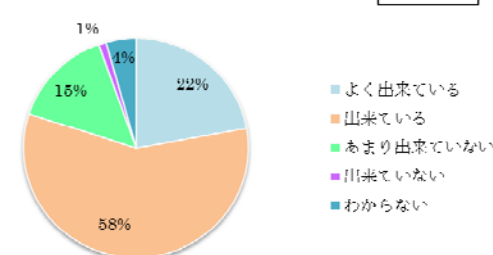


⑮ 教職員へ気軽に質問や相談がしやすい。

重要度

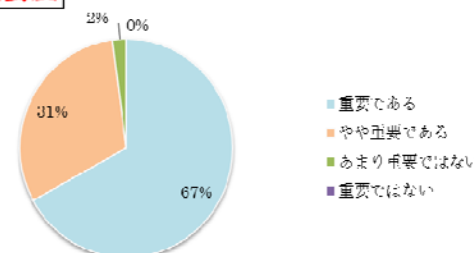


実現度

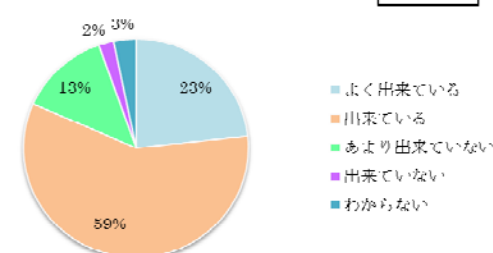


⑯ 学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てている。（PTA・地域行事への参加など）

重要度



実現度



「重要度」については、どの項目についても保護者の方々も、**重要・やや重要**だと考えておられます。

一方「実現度」については、「よく出来ている」「出来ている」を合わせて**50%を切る**項目はひとつもありませんでしたが「子どもは、読書の習慣がついている。」が昨年度の1回目のアンケートでは**28%**で、2回目のアンケートでは**35%**であったのが、**今年度の1回目のアンケートでは5.3%**とぐっと上昇しました。この項目は、西野小学校の長年の課題でもありましたが、年々数値が上がってきました。

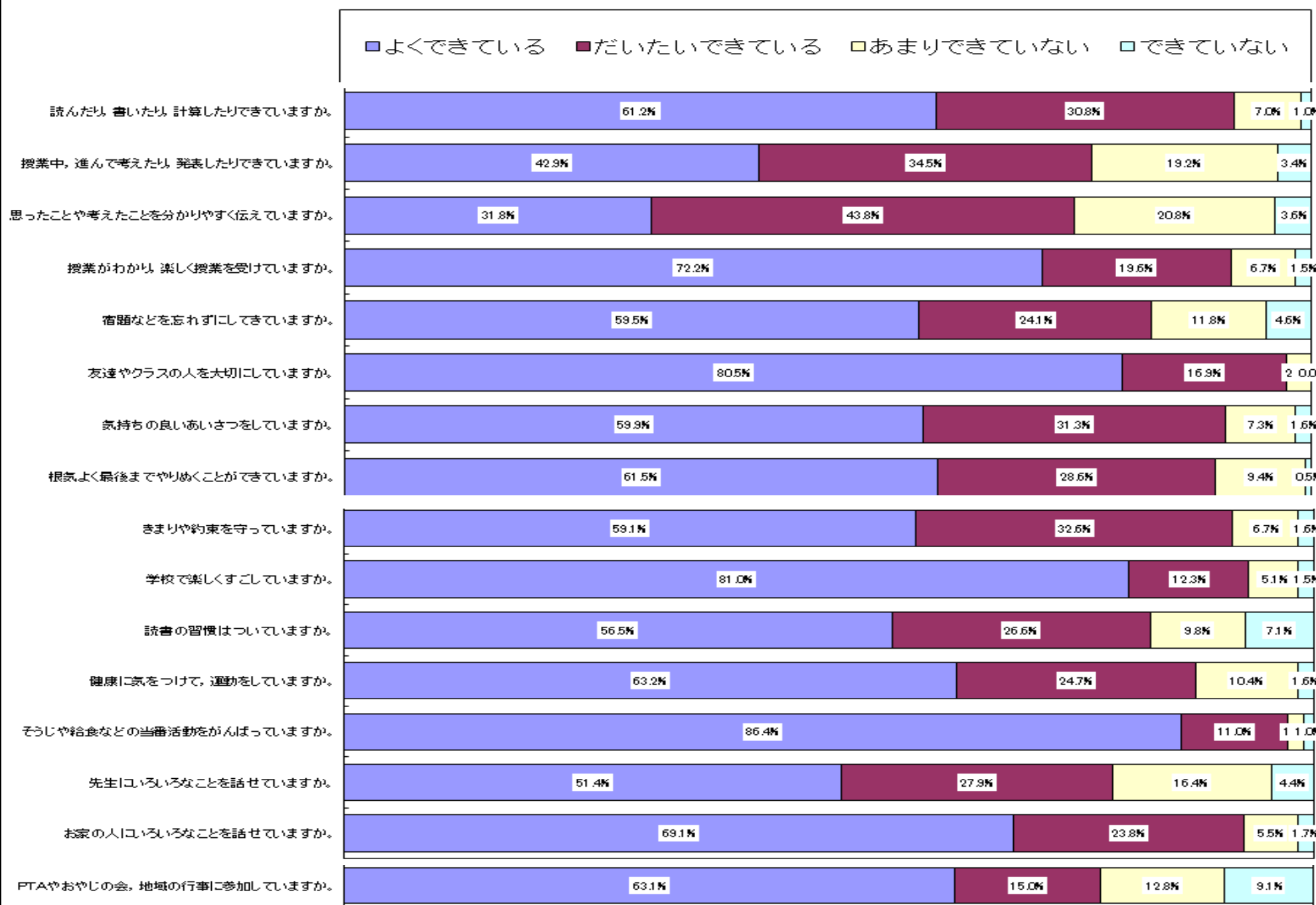
今年度は朝読書に毎日取り組み、親子読書（年2回）・読書ボランティアによる読み聞かせ（月1回）等も例年通り行ってきました。

読書週間においては、山科図書館から本を多数借入れて朝の読書をしたり、秋には教職員の読み聞かせをしたりして、教室の雰囲気も落ち着いて、スムーズに1時間目を迎えることもできています。ご家庭においてもお子様に、ぜひ読書を進めて下さい。

たくさんの方々のアンケートのご協力、本当にありがとうございました。保護者の方々のアンケートやご意見を十分に受け止め、今後の学校運営にいかしていきたいと思います。

第1回『西野小学校学校生活アンケート』(児童)

本校の児童にも、『学校生活アンケート』を実施しました。質問に対する答えの結果は、下記の通りでした。



児童のアンケートから、「よくできている」「だいたいできている」のポイントは高いが、「あまりできていない」の項目を見ると、質問②の「授業中、進んで考えたり発表したりできていますか。」や質問③の「思ったことや考えたことを分かりやすく伝えていきますか。」がそれぞれ前回は23%・24%であったのが、今回は19%・21%と少し下がったものの、自分の思ったことや考えたことを進んで発表したり、分かりやすく伝えたりすることが少し苦手な児童もいます。

また、保護者のアンケートと同様に質問⑪の「読書の習慣はついていますか。」では、前回は20%の児童が「あまりできていない」と答えていたのが9.8%となり、読書の習慣も定着しつつあるのかなと考えています。

今回の児童アンケートから、学習時における児童同士のコミュニケーション能力の向上に今後の課題が残ると考えられます。

第1回『西野小学校評価アンケート』[教職員]

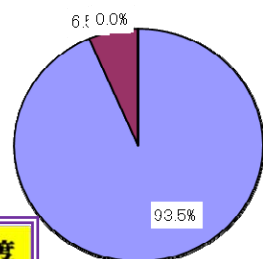
教職員アンケート！

●重要度(左)・・・重要なこと、大切なことの度合い

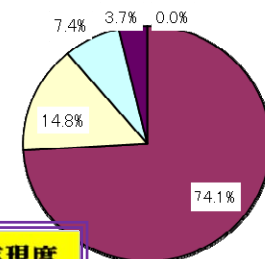
●実現度(右)・・・実際にあらわれること、あらわす度合い

① 子どもは、音読・漢字・計算等の基礎的な学力を身につけている。

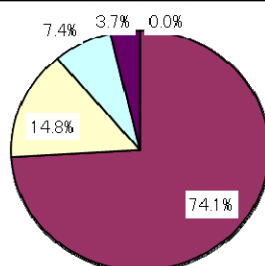
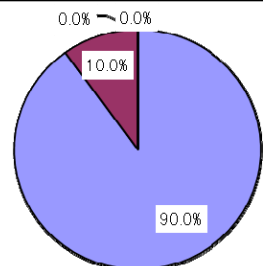
重要度



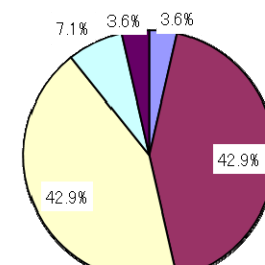
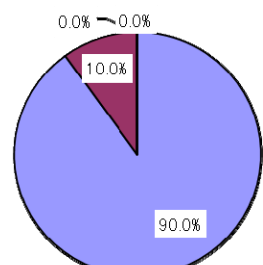
実現度



② 子どもは、授業の中で、進んで考えたり、発表したりしている。

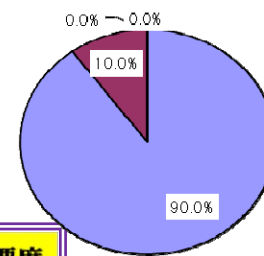


③ 子どもは、言語活動（読む・書く・話す活動）を通して、伝え合う力を身につけている。

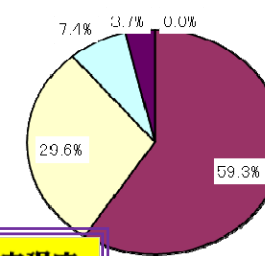


④ 子どもは、授業がわかり、満足感や達成感をもっている。

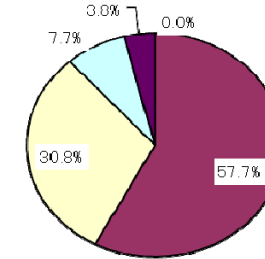
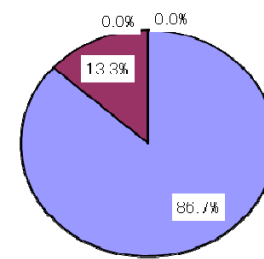
重要度



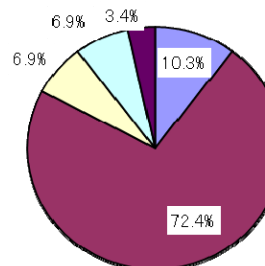
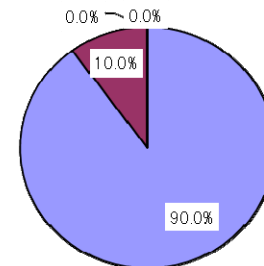
実現度



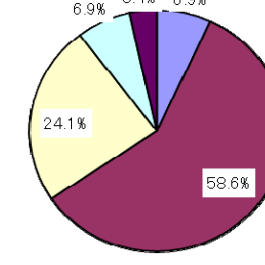
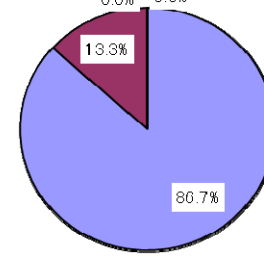
⑤ 子どもは、家庭学習の習慣を身につけている。



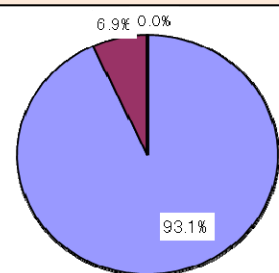
⑥ 学校は、人を思いやる心を育てるなど、人権を大切にした教育を進めている。



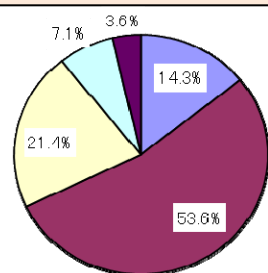
⑦ 子どもは、気持ちの良いあいさつをしている。



⑧ 子どもは、最後まで根気よくやりぬこうとしている。

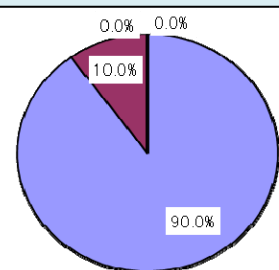


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

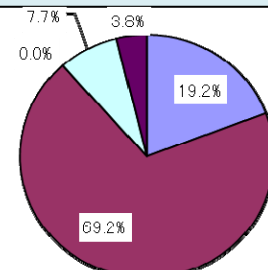


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑨ 子どもは、きまりや約束を守って生活している。

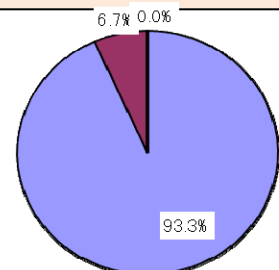


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

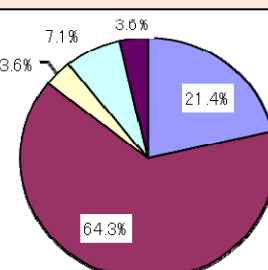


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑩ 子どもは、楽しく学校に通っている。

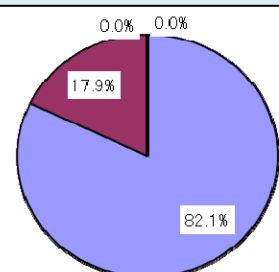


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

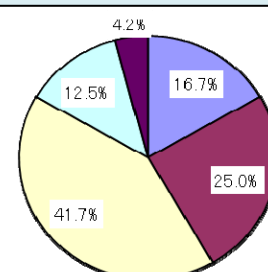


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑪ 子どもは、読書の習慣がついている。

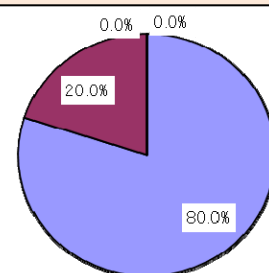


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

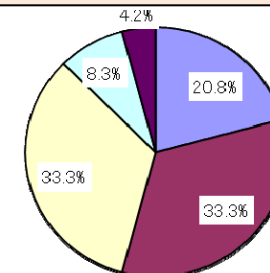


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑫ 子どもは、健康で体力のある体をつくろうとしている。

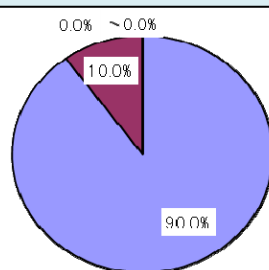


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

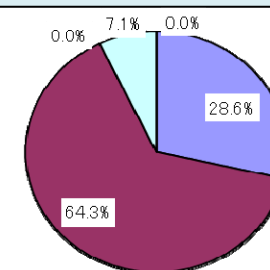


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑬ 子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。

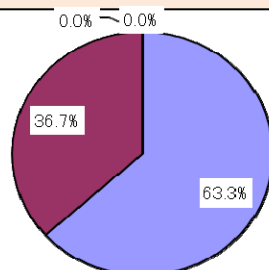


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

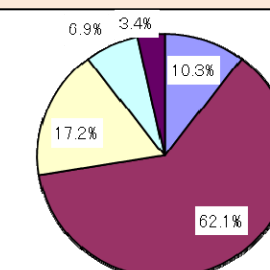


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑭ 学校は、学級・学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。

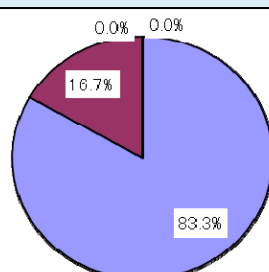


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

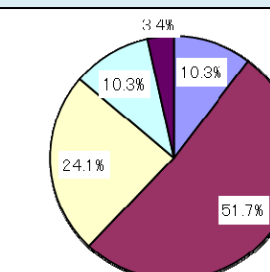


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑮ 教職員へ気軽に質問や相談がしやすい。

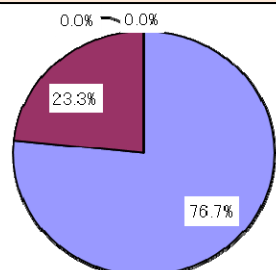


- 重要である
- やや重要である
- あまり重要ではない
- 重要ではない

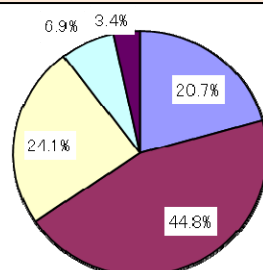


- よく出来ている
- 大体出来ている
- あまり出来ていない
- 出来ていない
- わからない

⑩ 学校・家庭・地域が連携して、子どもを育てている（PTA・地域行事への参加など）



■重要である
■やや重要である
■あまり重要ではない
■重要ではない



■よく出来ている
■大体出来ている
■あまり出来ていない
■出来ていない
■わからない

教職員のアンケートから、「実現度」の中で「よく出来ている」の項目と「大体出来ている」のポイントを合わせて特に高かったのは、質問⑬の「子どもは、そうじや給食当番などの当番活動がんばっている。」が、前回は**80%**であったのが、さらにポイントが上がり、**93%**になりました。西野小学校のほとんどの児童が、真面目に当番活動がんばる特長が出ていると思います。

しかし、「重要度」のポイントは高いが、「実現度」の「あまり出来ていない」の項目を見ると、質問③の「子どもは、言語活動（読む・書く・話す活動）を通して、伝え合う力を身につけている。」が**43%**、質問⑪の「子どもは、読書の習慣がついている。」が**42%**で、自分の思ったことや考えたことを進んで進んで発表する力、伝え合う力（コミュニケーション能力）の向上に課題があります。



●学校運営協議会：理事さんのご意見

- ・児童の方から、顔を見ると挨拶をきちんとしてくれる。
- ・我が子がけがをした時、みんな「どうしたの？」と、声かけをしてくれたり、毎日正門で待っていてくれたり、違う学年の児童が教室まで連れて行ってくれたりした。縦割り活動の取組によって、下の学年の子にまでやさしい。
- ・言葉で伝えたり、相手のことを考えたりして、どの子も一生懸命関わってくれている。
- ・学校で学ぶのは「心を育てる」ことが一番大切。西野の子は純真な子が多い。高学年が下の学年の児童をよく見ている。自分の兄弟でなくても注意できるし、下の学年の児童もよく聞いている。自然にその流れができています。私たち自身が勉強になる。
- ・読書のアンケートの数値は、まだまだ誇れる数値ではない。ずっと学校のこのような取組を続けて、初めて結果が出る。継続することが大切である。
- ・道徳が教科になる。良いことだと思う。長いスパンで教育全体を見ていかなければいけない。やることをこころろ変えないで、変わらないものを大事にしなければいけない。
- ・日本人の美意識、日本人の価値観など、何を子ども達に伝えていかなければいけないかを大人も考えなければいけない。
- ・教育は「人間力」。子どもの時に洞察力・考える力・自分の考えをもたせていきたい。
- ・最近、コミュニケーションが取れない若者を見る。困難にぶつかるとすぐに限界になる。「生活力」は勉強より大きなものではないか。
- ・年々子ども達は、挨拶する頻度が高くなっている。下級生に対する対応する力がついて来ている。グループの中で責任感が過去より出てきている。上の学年になった時、力が付いたらよい。教師の言葉がけによって、まとめていく力を育ててほしいと思う。中学へ行っても力を発揮できるようになってほしい。
- ・出された宿題はこなしているが、自由勉強で何をすればよいのかが分かっていない。高学年のうちから、何をすればいいのか、道標みたいなものを指導してほしい。
- ・宿題は確実にやっているが、予習・復習はほとんどしない。
- ・教科書を読み込んでいる高学年が少ない。社会科でも、答えが書いてあるのにさがせないし、ちょっとした注釈も読めていない。
- ・家庭での学習の関わりがあれば、変わるのではないかと。国語の音読を、たとえ5～10分でもいいから一緒にできるのではないかと、家庭にアドバイス等先生方もすればよい。
- ・決まった時間に寝ていないし、決まった時間に起きていない。
- ・遊びに行く時、ゲームを持っていく。友達と遊ぶのではなく、同じ場でゲームを各々がやっている。ゲームが悪いのではなく、家庭で子どもと約束する大切さを学ぶ必要がある。
- ・ベストの体調で学習に臨めるように、学校から発信してほしい。
- ・コミュニケーションが取れない子は、同世代には話せるが、世代差があると話せないことが職場でも現在ある。ゲームは楽しいが、一方では、何かなくすものがあるのではないかと。

様々なご意見、ありがとうございました。